



たんぽぽ教室だより



令和8年度9月号

楽しかったね！夏休み



楽しかった夏休みが終わり、日焼けしてたくましくなった子どもたちが、夏休みの思い出をたくさんかかえて教室に戻ってきました。夏休み中、朝寝坊をしたり、夜更かしをしたりして、生活リズムが少し変わったお子さんもいるかもしれません。まずは「朝、決まった時間に起きる」「夜は早めにゆっくり休む」など、できることから少しずつ整えていけるといいですね。

9月は前期のまとめの時期でもあります。子どもたちが、半年間頑張ってきたことを振り返り、一人ひとりの成長と一緒に喜びながら、後期につなげていきたいと思います。

9月の行事予定

- | | |
|------------------------------|----------------|
| 1日（火）全校集会 | 16日（水）授業参観 懇談会 |
| 2日（水）身体計測（3日まで） | 18日（金）避難訓練 |
| 10日（木）臨海自然教室（5年）
（～11日まで） | 25日（金）全学年5時間授業 |

★9月11日（金）の5～7校時は、担当が出張のため通級はお休みになります。

9月25日（金）の5～7校時は、全職員研修のため通級はお休みになります。

★たんぽぽ授業参観

7月中に実施できなかった児童（今年度から通級に通っているお子さんが対象）の授業参観があります。日程の確認をよろしくお願いいたします。

～言葉の力を伸ばすヒント「さりげない言い直し」の関わり～

家庭での会話で「今日、宿題、忘れた！」や「ピーマン、苦くて食べられない。」「ぐいってやると…」など、助詞が抜ける、ら抜き言葉で話す、オノマトペで表現してしまいがちなど、お子さんの話し方が気になることはありませんか。言いたい気持ちが先走る小学生には、よくあることです。こうした場面で、親御さんの関わり方は言葉の発達にとっても重要です。

そこで、おすすめなのが「リキャスト（さりげない言い直し）」という方法です。大切なのは、間違いを直接指摘しないことです。「『“食べられない”』でしょ！」などと正そうとすると、子どもは否定されたと感じて話す意欲を失ってしまいます。まずは「宿題を忘れたんだね。」「そっか、ピーマン食べられないんだね。もっと小さくしようか。」「ひねったんだね。」などと、子どもの言いたかった気持ちを共感的に受け止め、正しい言葉を補って肯定的に返してあげます。間違いを叱られない安心感があるからこそ、子どもは「もっと話したい！」という意欲を保ちながら、正しい言葉のルールを自然に吸収していけます。

毎日の会話の中で、「伝わった！」という喜びの積み重ねが、お子さんの言葉と豊かな心を育てていきます。ぜひご家庭でも、いつもの会話の中で「さりげない言い直し」を気軽に意識してみてくださいね。

